




Dell DL1300 アプライアンス
『Release Notes』 (リリースノート)



メモ、注意、警告

-  **メモ:** メモでは、コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。
-  **注意:** 注意では、ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。
-  **警告:** 警告では、物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

© 2016 Dell Inc. 無断転載を禁じます。この製品は、米国および国際著作権法、ならびに米国および国際知的財産法で保護されています。Dell、および Dell のロゴは、米国および/またはその他管轄区域における Dell Inc. の商標です。本書で使用されているその他すべての商標および名称は、各社の商標である場合があります。

2016 - 05

Rev. A00

目次

1 はじめに.....	6
DL1300 Dell アプライアンスについて.....	6
DL Appliance ソフトウェアについて.....	6
その他の情報.....	6
ライセンスポータルでのアプライアンスの登録.....	7
2 Rapid Recovery の既知の問題と制限事項.....	9
DL アプライアンスログのダウンロード機能が失敗する.....	9
試用ライセンスがアクティブ化されたプロビジョニング中にリポジトリ作成が失敗する.....	9
provisioning (プロビジョニング) ページに Expand (展開) オプションがない.....	10
VM 管理 ページから VM 操作ボタンが欠落している.....	10
バックアップリンクで、一部の記号が数字コードとして表示される.....	10
Backup Now (今すぐバックアップ) ボタンを使っても Winbackup 機能が作動しない.....	10
バックアップステータスメッセージに誤ったリンクが表示される.....	11
RASR USB ドライブを作成する際にアプライアンスのバックアップタブがフリーズする.....	11
Appliance Backup (アプライアンスバックアップ) タブで RASR USB ドライブを作成するとき にエラーメッセージが表示される.....	11
Virtual Standby (仮想スタンバイ) タブをクリックするとエラーが表示される.....	12
アプライアンスのマウントポイントが一つ取り外されている場合、ボリュームを再マウントし た後に DVM リポジトリが復元できない.....	12
Rapid Recovery 6.0 で作成された DVM Repository が AppAssure 5.4.3 にマウントできない.....	12
Rapid Recovery 6.0 へのアップグレード後、Recovery and Update Utility が再起動後に起動し ない.....	13
Core を AppAssure 5.4.3 から Rapid Recovery 6.0 にアップグレードすると、Core Console が 自動的に起動しない.....	13
ボリュームの再マウント時にエラーが表示される.....	13
ESX (i) ホストがオフラインのときに Rapid Recovery 6.0 がエラーを表示する.....	14
3 AppAssure の既知の問題と制限事項.....	15
試用ライセンスに SQL 機能が含まれていない.....	15
ライセンスをアップグレードした後、Provisioning (プロビジョニング) タブが更新されない.....	15
ボリュームの再マウント時、アプライアンス上でマウントポイントの1つが削除されると、エ ラーが発生する.....	15
Recovery and Update Utility 実行後、DL Appliance Backup タブのコンテンツがなくなってい る.....	16
スタンバイ仮想マシン用の仮想ドライブのプロビジョニングが 2 番目の PowerEdge RAID コ ントローラ上で失敗する.....	16

ローカライズされていないメッセージが AppAssure Core および AppAssure イベントログに 表示されることがある.....	16
Recovery and Update Utility ビルド 99 で不具合が発生する	17
アプライアンス タブの Remount volumes (ボリュームの再マウント) ボタンがリポジトリボ リュームを再マウントしない.....	17
プロビジョニング ページでボリュームを再マウントしているときに、エラーが発生した新規ジ ョブのステータスが作成される。.....	18
AppAssure Core アップグレードを手動で実行すると失敗する.....	18
USB ドライブから起動すると、Windows Recovery Wizard で Appliance を回復できない.....	19
ハードドライブが MD1400 エンクロージャから取り外された後でディスクステータスが正し く表示されない.....	19
Recovery and Update Utility 実行中、Dell DL Appliance アプリケーションがエラーを伴って失 敗する.....	19
アプライアンスの再起動時、ランダムなドライブ文字がリポジトリ VD に割り当てられる.....	19
Recovery and Update Utility (バージョン # 184) アップグレードと工場出荷時設定への復元の 実行後に両方のコントローラの再マウントに失敗する。.....	20
ホスト名に下線を使用しない.....	20
RASR USB キーの作成中にエラーが表示される.....	20
アプライアンス タブでのポリシー表示の応答が遅い.....	21
アプライアンスのホスト名を設定してドメインに追加する時にエラーが表示される.....	21
RASR USB ドライブが生成されていない場合、Appliance (アプライアンス) タブの状態が黄色 で表示される.....	21
Appliance (アプライアンス) タブにコンテンツがない.....	21
DL アプライアンスログの収集中に「Collecting... (収集中...)」というメッセージが画面に表示 されたままになる.....	22
Appliance (アプライアンス) タブが機能しなくなる.....	22
エクスポートの実行中に、仮想スタンバイ用の VM 操作ボタンがアクティブになる.....	22
Hyper - V のステータスがオフラインに変わると ESX (i)でのハイパーバイザのステータス情 報がオフラインと表示される	22
RAID 5 以外の構成がアプライアンスでサポートされていない.....	23
誤った RUU をインストールすると DL Appliance の機能が停止する.....	23
AppAssure Appliance Configuration Wizard (AppAssure アプライアンス設定ウィザード) が完 了しない.....	23
OpenManage Server Administrator サービスが無効のとき、AppAssure Appliance Configuration Wizard (AppAssure Appliance 設定ウィザード) で間違ったメッセージが表示さ れる.....	23
OpenManage Server Administrator の問題.....	24
OpenManage Server Administrator が正しくインストールされない.....	24
OpenManage Server Administrator がステータスのアップデートに失敗する.....	24
Recovery and Update Utility の完了に時間がかかる.....	24
AppAssure のデスクトップショートカットがドメインユーザーに表示されない.....	25
ホスト名を変更しても Core Console ショートカットがアップデートされない.....	25

AppAssure アプライアンス設定ウィザードを終了しようとしてもエラーメッセージが閉じない.....	25
ライセンスキーのインストールの失敗	25
ライセンスキーのインストールと AppAssure アプライアンス設定ウィザードが失敗する.....	26
ライセンス設定の失敗時に誤ったメッセージが表示される.....	26
USB ドライブの安全な取り外し.....	26
4 困ったときは.....	28
デルへのお問い合わせ.....	28
マニュアルのフィードバック.....	28

はじめに

本書では、AppAssure および Rapid Recovery を実行している Dell DL1300 アプライアンスの重要な製品情報および制限事項が説明されています。

DL1300 Dell アプライアンスについて

DL1300 アプライアンスは、さまざまな環境のために設計されています。15.5 インチの浅い奥行き、少ない消費電力、低騒音の DL1300 は、スペースに制約のあるオフィス環境に最適です。このアプライアンスは、2 TB、3 TB、および 4 TB のプロビジョニング済みバックアップ容量（最大 2 台のスタンバイ仮想マシンのオプション付き（3 TB および 4 TB 構成上））での使用が可能です。

迅速な展開と効率性のために最適化された DL1300 では、次が可能です。

- バックアップ時間の短縮に役立ちます。
- 最高 60 分ごとの頻度でスナップショットを作成します。
- クラウドアーカイブコネクタはクラウドストレージサブスクリプション（対応プロバイダ：Microsoft Azure、Amazon S3、OpenStack、および RackSpace）へのアーカイブの移動を簡易化し、テープインフラストラクチャとの置き換えが可能になります。
- 重要なサーバーを素早く復元するため、最大 2 つのスタンバイ VM を維持します（適切なエディションを使用）。
- 統合されたインライン方式のブロックレベル重複排除および圧縮と共に、WAN レプリケーション用に最適化されたバックアップを提供します。
- DL1300 ストレージを自動でプロビジョニングするウィザードベースの設定ユーティリティと、リモート管理用の iDRAC Express を提供します。

DL Appliance ソフトウェアについて

Dell DL Appliance ソフトウェアはほぼゼロに近いリカバリ時間目標とリカバリポイント目標を提供します。災害復旧にとどまらず、DDL Appliance ソフトウェアはデータ移行および管理に対するデータソリューションも提供します。類似または異種ハードウェアへのベアメタル復元を行う柔軟性があり、バックアップは、その生成元に関わらず、物理または仮想マシンに復元することができます。DL Appliance ソフトウェアでは、クラウド、Dell DL シリーズのバックアップおよびリカバリアプライアンス、または希望の対応システムへのアーカイブも可能です。DL Appliance ソフトウェアを使用して、冗長性とセキュリティを強化するために、1 つ、または複数のターゲットに複製することができます。

詳細については、<https://support.software.dell.com> を参照してください。

その他の情報

 **メモ:** Dell OpenManage マニュアルは、[Dell.com/openmanagemanuals](https://dell.com/openmanagemanuals) にアクセスしてください。

- 📎 **メモ:** アップデートには他の文書の内容を差し替える情報が含まれている場合がよくあることから、Dell.com/support/home でアップデートがないかどうかを常に確認し、最初にお読みください。
- 📎 **メモ:** Dell OpenManage Server Administrator に関するマニュアルは、Dell.com/openmanage/manuals を参照してください。

製品のマニュアルには次が含まれます。

- 『**Getting Started Guide**』 (はじめに) システムのセットアップ、および技術仕様の概要を提供します。このマニュアルはシステムに同梱されています。
- 『**System Placemat**』 (システムプレースマット) お使いのアプライアンスにおけるハードウェアのセットアップ、およびソフトウェアのインストール方法についての情報を提供します。
- 『**Owner's Manual**』 (オーナーズマニュアル) システムの機能、システムのトラブルシューティング方法、およびシステムコンポーネントの取り付けまたは交換方法について説明しています。
- 『**Deployment Guide**』 (導入ガイド) アプライアンスのハードウェア導入、および初期導入についての情報を提供します。
- 『**User's Guide**』 (ユーザーズガイド) システムの設定および管理についての情報を提供します。
- 『**Release Notes**』 (リリースノート) Dell DL1300 アプライアンスに関する製品情報と追加情報を提供します。
- 『**Interoperability Guide**』 (相互運用ガイド) お使いのアプライアンス対応のソフトウェアおよびハードウェアについての情報の他、使用時の考慮事項、推奨事項、および規則についての情報を提供します。
- 『**OpenManage Server Administrator User's Guide**』 (OpenManage Server Administrator ユーザーズガイド) お使いのシステムを管理するための Dell OpenManage Server Administrator の使用についての情報を提供します。

ライセンスポータルでのアプライアンスの登録

1. お使いのウェブブラウザで、ご購入時に受け取った電子メールに記載されたウェブサイト URL をクリックして、ライセンスポータルに移動します。
2. **Register** (登録) ページの **E-mail Address** (電子メールアドレス) テキストボックスに、ご契約に関連する電子メールアドレスを入力します。
3. アプライアンスのライセンス番号またはサービスタグを入力します。
複数のアプライアンスをお持ちの場合は、サービスタグまたはライセンス番号の入力後に <Enter> キーを押して、追加の番号を入力してください。
4. **Activate** (アクティブ化) をクリックします。

入力した電子メールアドレスがライセンスポータルに登録されていない場合（新しいライセンスポータルアカウントの場合）は、電子メールを使用してライセンスポータルにアカウントを作成するようプロンプトが表示されます。

5. 情報を入力して、ライセンスポータルにアカウントを作成します。
登録すると、ライセンスポータルにログオンされます。電子メールアドレスにも、アクティベーション電子メールが送信されます。
6. ライセンスキーのリストが記載された登録の成功通知が表示されます。この通知には、ライセンスキーをアプライアンスに適用するための次の手順が説明されています。
 - a. お使いのアプライアンスの Core Console を起動します。
 - b. **Core Configuration (コア設定)** → **Licensing (ライセンス)** と移動します。
 - c. **Change License (ライセンスの変更)** をクリックします。
 - d. 登録の成功通知メッセージに記載されているソフトウェアライセンスキーをコピー & ペーストして、変更を保存します。
7. **OK** をクリックします。

詳細については、<http://documents.software.dell.com/AppAssure/> で入手可能な『*Dell Software License Portal User Guide*』（Dell ソフトウェアライセンスポータルユーザーガイド）を参照してください。

Rapid Recovery の既知の問題と制限事項

- **メモ:** Rapid Recovery バージョン 6.0.2 が利用可能です。以前のリリース (AppAssure 5.4.3 など) のローカライズバージョンからアップグレードする場合は、Core Console および PowerShell モジュールを含むアップグレードされた Rapid Recovery コンポーネントが英語でしか利用できないことにご注意ください。

DL アプライアンスログのダウンロード機能が失敗する

説明 **Download DL Appliance Log** (DL アプライアンスログのダウンロード) パネルの **Collect Logs** (ログ) をクリックしても結果は表示されません。Download DL Appliance Log (DL アプライアンスログのダウンロード) は、Rapid Recovery 6.0.2 では機能しません。

回避策 / 解決方法 システムで手動でログを探すには、次の手順を実行します。

1. **Collect Logs** (ログの収集) をクリックします。
Collect Server Logs (サーバーログの収集) バックグラウンドジョブが完了するまで待ちます。ジョブステータスは、Core GUI で、**Events** (イベント) タブ、またはページの右上角にある 実行中のタスク クドロップダウンから追跡できます。
2. **C:\ProgramData\AppRecovery\OMSA_logs** に移動します。このフォルダ内の zip ファイルには、収集されたすべてのログが含まれます。

試用ライセンスがアクティブ化されたプロビジョニング中にリポジトリ作成が失敗する

説明 ストレージをプロビジョニングしようとする時、エラーメッセージ Task failed with the following error: Error creating AppAssure Repository 1. The maximum repository size is limited by the license and should not exceed <n> TB. Please contact your account manager for more information が表示されます。Core は、試用ライセンスのリポジトリ作成に関するストレージ制限を認識せず、アプライアンス上で使用可能なストレージ全体に対してリポジトリを作成しようとします。

回避策 / 解決方法 AppAssure Core 5.4.3 上でストレージプロビジョニングを完了させます。Rapid Recovery の実行は、AppAssure Core 5.4.3 でストレージプロビジョニングが完了し、リポジトリが作成された後のみ行う必要があります。

provisioning（プロビジョニング）ページに Expand（展開）オプションがない

説明 Rapid Recovery 6.0.2 にアップグレードした後、**Provisioning**（プロビジョニング）ページに Expand（展開）オプションがありません。

回避策 / 解決方法

1. **Repository**（リポジトリ）タブに移動します。
2. 展開するリポジトリの横にある **Add Storage location**（ストレージの場所の追加）をクリックします。
3. リポジトリボリュームの位置を示すパスを指定します（このパスは、次のマウントポイント下で使用できます：**C:\DLDisks\<<RepositoryName>\disk_<UniqueDiskIdentifier>**）。
このパス名内で新しいリポジトリファイル用のフォルダを指定します。このフォルダの名前には File_X を使用することをお勧めします。既存のリポジトリのフォルダ名には File_0 または File_1 があります。
4. 次の数式を使用して、拡張のサイズを入力します。拡張サイズ = 合計ライセンス容量 - 現在のリポジトリサイズ
5. リポジトリ設定を確認します。

VM 管理 ページから VM 操作ボタンが欠落している

説明 **VM Management**（VM 管理）ページに VM 操作ボタン（開始 / 停止）が表示されません。その代わりに、**Virtual Standby**（仮想スタンバイ）ページが表示されます。

回避策 / 解決方法 対応するハイパーバイザー（Hyper-V または ESXi）に移動し、設定を変更します。

バックアップリンクで、一部の記号が数字コードとして表示される

説明 ポルトガル語の Rapid Recovery Core の **Health**（正常性）タブにある **Appliance**（アプライアンス）ページにあるバックアップリンクで、一部の記号が数値コードとして表示されます。

回避策 / 解決方法 バックアップリンクは **Appliance**（アプライアンス）タブの **Backup**（バックアップ）ページをポイントします。ページには手動でナビゲートできます。


Backup Now（今すぐバックアップ）ボタンを使っても Winbackup 機能が作動しない

説明 Winbackup 機能は、**View Windows Backup Policy**（Windows バックアップポリシーの表示）の **Backup now**（今すぐバックアップ）ボタンの使用では強制できません。**Backup now**（今すぐバックアップ）ボタンはポップアップページで非アクティブになっています。

回避策 / 解決方法 **Appliance Backup** (アプライアンスバックアップ) ページの **Backup now** (今すぐバックアップ) ボタンをクリックします。

バックアップステータスメッセージに誤ったリンクが表示される


説明 Windows バックアップの作成時に、バックアップが失敗します。**Error Action** (エラーアクション) フィールドに `Retry by clicking on the "Configure" link on the Configuration pane below` (以下の Configuration (設定) ペインの「Configure」(設定) リンクをクリックして再試行してください) という情報が表示されますが、**Configure** (設定) リンクは存在しません。

 **メモ:** 回避策を実行する前に、バックアップターゲットディスクが利用可能であることを確認してください。


回避策 / 解決方法 **Backup Now** (今すぐバックアップ) ボタンをクリックします。

RASR USB ドライブを作成する際にアプライアンスのバックアップタブがフリーズする

説明 RASR USB ドライブを作成するときに、**Appliance Backup** (アプライアンスバックアップ) タブがフリーズします。

 **メモ:** Core Console (コアコンソール) 上の他のページには、引き続きアクセスすることができます。RASR USB ドライブ作成進捗状況は、Core (コア) の **Event** (イベント) タブで追跡することができます。

回避策 / 解決方法 RASR USB ドライブが作成されるまで待ってから、**Backup** (バックアップ) タブにアクセスしてください。

 **メモ:** RASR USB ドライブの作成には約 30 分かかります。

Appliance Backup (アプライアンスバックアップ) タブで RASR USB ドライブを作成するときにエラーメッセージが表示される

説明 The following critical files and/or directory paths required for RASR USB drive creation are missing: winre.wim, bootmgr, bmr (RASR USB ドライブ作成に必要な次の重要ファイルおよび/またはディレクトリパスが欠落しています: winre.wim、bootmgr、bmr) というエラーメッセージが Appliance Backup (アプライアンスバックアップ) タブに表示される場合があります。

回避策 / 解決方法 RASR USB が作成されるまで待機して、ページを更新します。


Virtual Standby (仮想スタンバイ) タブをクリックするとエラーが表示される

説明 複数のエクスポートジョブが同時に実行されているときにサーバーが応答しません。

回避策 / 解決方法 エラーを閉じ、アクションを再試行します。

アプライアンスのマウントポイントが一つ取り外されている場合、ボリュームを再マウントした後に DVM リポジトリが復元できない

説明 DVM リポジトリが複数のコントローラにプロビジョニングされており、マウントポイントのひとつが削除された場合、アプライアンスでの DVM レポジトリのリカバリが失敗します。

 **メモ:** 初期リポジトリの作成には、PERC H330 コントローラを使用するようにしてください。

回避策 / 解決方法

1. リポジトリのストレージ場所となっているボリュームにドライブ文字を割り当てます。
2. 手動で Core 設定を復元する、または **Repositories** (リポジトリ) ペインを介して **Open Existing Repository** (既存のリポジトリを開く) オプションを使用し、リポジトリの有効なパスを指定します。

Rapid Recovery 6.0 で作成された DVM Repository が AppAssure 5.4.3 にマウントできない

説明 アプライアンスを向上出荷時状態に復元した後、リポジトリの識別方法における変更のために Rapid Recovery 6.0 の DVM リポジトリを AppAssure 5.4.3 にマウントできなくなります。

回避策 / 解決方法 Rapid Recovery 6.0 にアップグレードしてから、**Open Existing Repository** (既存のリポジトリを開く) オプションを使用します。

リポジトリが Rapid Recovery 6.0 で作成され、そのリポジトリが工場出荷時状態への復元後に AppAssure 5.4.3 に存在する場合は、ただちに (アプライアンス GUI の最初の手順) Rapid Recovery 6.0 にアップグレードします。

Rapid Recovery 6.0 へのアップグレード後、Recovery and Update Utility が再起動後に起動しない

説明 Dell DL Appliance Recovery and Update Utility (RUU) を使用しているとき、システム再起動後に失敗スクリプトエラーメッセージが表示されます。コアサービスを自動的に開始することができません。

回避策 / 解決方法 手動で RUU を再起動し、完了するまで待ってから、デスクトップアイコンを使って Core Console を起動します。

 **メモ:** Core Console は RUU 実行中に起動しないでください。


Core を AppAssure 5.4.3 から Rapid Recovery 6.0 にアップグレードすると、Core Console が自動的に起動しない

説明 Core を AppAssure 5.4.3 から Rapid Recovery 6.0 にアップグレードした後、システムを再起動するためのプロンプトが表示されますが、システムの再起動時に startAA.vbs スクリプトは Core Console を開かず、Windows Script Host エラーを表示します。

回避策 / 解決方法 Rapid Recovery 6.0 へのアップグレード後、デスクトップのアイコンをクリックして手動で Core Console を起動します。

ボリュームの再マウント時にエラーが表示される

説明 DVM リポジトリを回復するときに、Failed read consistency lock on IsSpare_AC or MediaPresent_DiskDriveToStorageExtent_AC Association Cache (IsSpare_AC または MediaPresent_DiskDriveToStorageExtent_AC 関連キャッシュでの読み取り整合性ロックが失敗しました) というエラーが表示されます。このエラーは、リポジトリが複数のコントローラでプロビジョニングされ、マウントポイントのひとつが削除された場合に発生します。

 **メモ:** ストレージのプロビジョニングには、PERC H330 コントローラを使用するようにしてください。



回避策 / 解決方法

1. リポジトリのストレージ場所となっているボリュームにドライブ文字を割り当てます。
2. 手動で Core 設定を復元する、または **Repositories** (リポジトリ) ペインの **Open Existing Repository** (既存のリポジトリを開く) で、リポジトリの有効なパスを指定します。

ESX (i) ホストがオフラインのときに Rapid Recovery 6.0 がエラーを表示する

説明	ESX (i) 仮想スタンバイのエクスポート後、ESX (i) ホストの状態がオフラインの場合、Unable to connect to the remote server now (現在リモートサーバーに接続できません) というエラーが表示されます。
回避策	ESXi サーバーにバックアップされている仮想スタンバイが存在している場合、すべてのホスト ESXi サーバーが起動しており動作可能であることを確認します。

AppAssure の既知の問題と制限事項

-  **メモ:** ホスト名は、**AppAssure アプライアンス設定ウィザード** を使用して変更することをお勧めします。設定が完了したら、コンピュータ名を手動で以前の名前に変更してください。
-  **メモ:** HDD での仮想ディスクの作成または削除は行わないでください。これによって、ストレージプロビジョニングおよび / またはリポジトリリカバリでの問題が生じる可能性があります。

試用ライセンスに SQL 機能が含まれていない

- 説明** すべての DL アプライアンスは、初期設定中には試用ライセンスで提供されますが、試用ライセンスは SQL 機能をサポートしません。
- 回避策 / 解決方法** SQL 機能を有効にするには、購入済みライセンスをアクティブ化します。

ライセンスをアップグレードした後、Provisioning（プロビジョニング）タブが更新されない

- 説明** お使いのライセンスをアップグレードし、リポジトリを展開したとき、**Provision**（プロビジョニング）タブは更新されません。
- 回避策 / 解決方法** **Provision**（プロビジョニング）タブが更新されなくても、展開操作を続行することができます。システムは、実際のライセンスを考慮に入れる追加の検証ロジックを備えています。

ボリュームの再マウント時、アプライアンス上でマウントポイントの 1 つが削除されると、エラーが発生する

- 説明** リポジトリが複数のコントローラ上でプロビジョニングされ、マウントポイントの 1 つが削除された場合、*Failed read consistency lock on IsSpare_AC or MediaPresent_DiskDriveToStorageExtent_AC Association Cache* (IsSpare_AC または MediaPresent_DiskDriveToStorageExtent_AC 関連キャッシュでの読み取り整合性ロックが失敗しました) というエラーが表示されます。
- 回避策 / 解決方法**
1. Core のサービスを再起動します。
 2. ディスクへのアクセスを取得するには、**ディスク管理**を続行し、1 つの文字を両方のリポジトリディスクに割り当てます。
 3. **Open Existing DVM Repository** (既存の DVM リポジトリを開く) ウィンドウを表示するには、**Repositories** (リポジトリ) タブから **Open Existing Repository** (既存のリポジトリを開く) ボタンをクリックします。割り当てられた文字 (手

- 順 2) を持つボリュームに対応する **Path** (パス) フィールドにリポジトリのパスを入力します。
4. **開く** をクリックします。
 5. **Change** (変更) リンクをクリックして、現在のリポジトリのストレージパスを修正します。
 6. 割り当てられた文字 (手順 2) を持つボリュームに対応する両方の場所のパスを指定します。
 7. **OK** をクリックします。
 8. **Repositories** (リポジトリ) タブを更新します。

Recovery and Update Utility 実行後、DL Appliance Backup タブのコンテンツがなくなっている。

説明	RUU 実行中にウェブブラウザが開かれていると、Recovery and Update Utility (RUU) を使用してアプライアンスを回復してから AppAssure Core Web Console を再起動した後、Appliance Backup タブのコンテンツがなくなってしまう。
回避策 / 解決方法	ブラウザのキャッシュをクリアし、ブラウザを閉じてから AppAssure Core Web Console を起動します。

スタンバイ仮想マシン用の仮想ドライブのプロビジョニングが 2 番目の PowerEdge RAID コントローラ上で失敗する

説明	最初のコントローラ上にリポジトリが存在する場合、スタンバイ仮想マシン用の仮想ドライブを 2 番目の PowerEdge RAID コントローラ上でプロビジョニングすることはできません。セカンダリコントローラの横にある Provision (プロビジョニング) タブをクリックすると、次のエラーメッセージが表示されます: DL1300 supports only one repository.
回避策 / 解決方法	<ol style="list-style-type: none">1. お使いのライセンスのアップグレードによって、VM 作成とともに既存のリポジトリを展開します。2. スタンバイ VM 用の「オプションのストレージリザーブ」容量の 100% をプロビジョニングします。これを行うには、optional storage Reserve (オプションのストレージリザーブ) セクションにおいて、Allocate a portion of the storage being provisioned for standby VMs (スタンバイ VM にプロビジョニングされるストレージの一部を割り当てる) のドロップダウン内にある 100 を選択し、Provision (プロビジョニング) をクリックします。

ローカライズされていないメッセージが AppAssure Core および AppAssure イベントログに表示されることがある

説明	たまに、ローカライズされていないメッセージが、AppAssure Core (画面の右下隅) および AppAssure イベントログに表示されます。
----	---

回避策 / 解決方法 Core、WMI、および SRM Web Service サービスを再起動してから、ブラウザのキャッシュを空にし、ブラウザを再起動します。

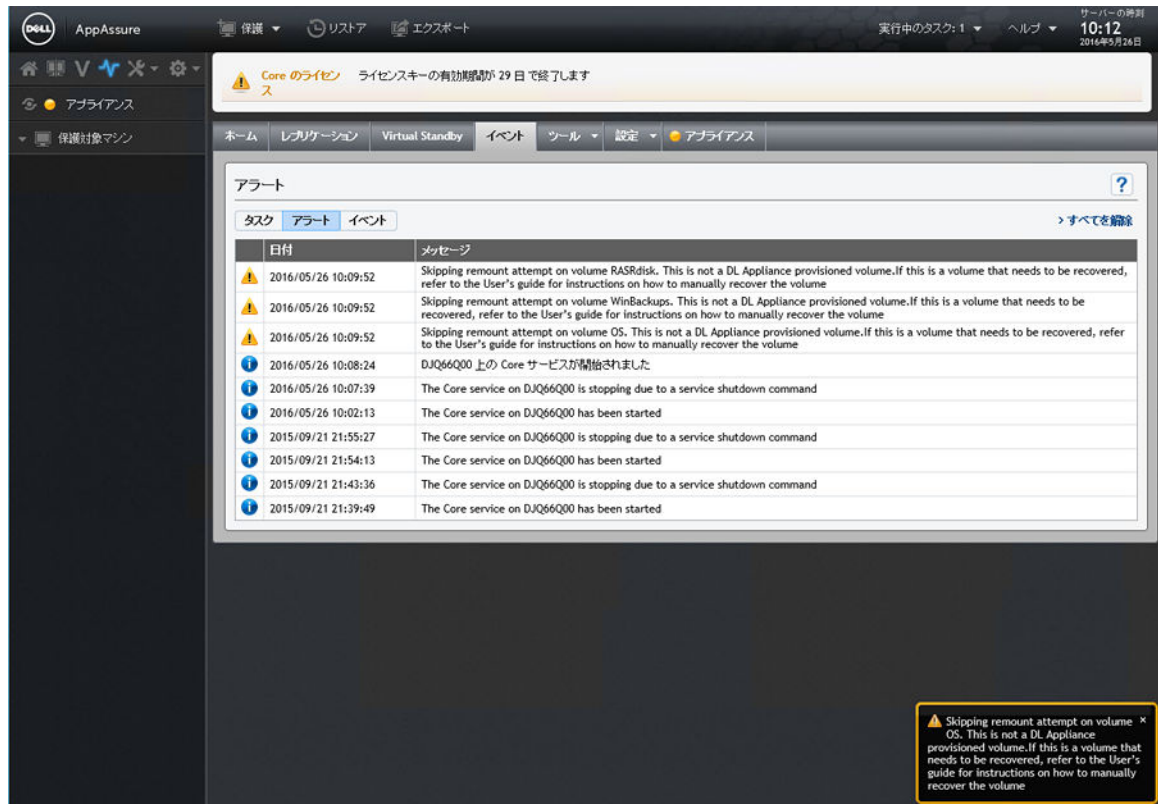


図 1. AppAssure Core および AppAssure イベントログに表示されたローカライズされていないメッセージ

Recovery and Update Utility ビルド 99 で不具合が発生する

説明 Recovery and Update Utility (RUU) ビルド 99 は、Rapid Appliance Self Recovery (RASR) アップデート中に DL アプライアンス上で不具合を発生させます。

回避策 / 解決方法 ビルド 99 を使用しないでください。ビルド 99 をインストールした場合は、最新の RUU にアップグレードしてください。

アプライアンス タブの Remount volumes (ボリュームの再マウント) ボタンがリポジトリボリュームを再マウントしない

説明 マウントポイントがリポジトリディスク内で削除された場合、**Appliance** (アプライアンス) タブ上の **Remount volumes** (ボリュームの再マウント) ボタンが機能しません。

回避策 / 解決方法 ボリュームマウントポイントを復元するには、次の手順を実行します。

1. **Repository** (リポジトリ) タブを開いて、エラーリポジトリを展開します。
2. リポジトリファイルのパスをコピーします。
3. **Operating system Disk Manager** (オペレーティングシステムディスクマネージャ) を開きます: **Server Manager** (サーバーマネージャー) → **Tools** (ツール) → **Computer Management** (コンピュータ管理) → **Disk Management** (ディスク管理)。
4. リポジトリディスクを見つけ、ディスク名にはリポジトリ情報が含まれていません。
5. ドライブを右クリックし、**Change drive letter and paths** (ドライブ文字とパスの変更) を選択します。
6. **Add** (追加) をクリックします。
7. NTFS フォルダで、**Mount** (マウント) を選択します。
8. 手順 2 でコピーしたパスをペーストします。
9. File_X を削除するには、パスを編集します。(たとえば、リポジトリパスが **C:\DLDisks\Repository 1\disk_1234567890\File_0** の場合、**C:\DLDisks\Repository 1\disk_123456790** に変更する必要があります。)
10. **OK** をクリックします。
11. 手順 2 で表示されたリポジトリパスが異なる場合は、それらすべてに対してこれを繰り返します。残りのパスが同じ場合はファイル_X 番号を無視し、この手順を繰り返す必要はありません。
12. 失敗したりポジトリパスが復元されたら、**Configuration** (設定) → **Repositories** (リポジトリ) タブと進み、**check repository** (リポジトリのチェック) をクリックします。

プロビジョニング ページでボリュームを再マウントしているときに、エラーが発生した新規ジョブのステータスが作成される。

説明 **Provisioning** (プロビジョニング) ページでボリュームを再マウントしていると、エラーが発生した新規ジョブのステータスが作成されます。この問題は、Rapid Appliance Self Recovery (RASR) USB ドライブからアプライアンスを再起動し、工場出荷状態へのリセットを実行した後で発生します。

回避策 / 解決方法 プロビジョニングしているときは、すべての USB ドライブを取り外します。

AppAssure Core アップグレードを手動で実行すると失敗する

説明 この問題は、Recovery and Update Utility (RUU) プロセス外で Core (コア) をアップグレードしようとするときに発生します。

回避策 / 解決方法 Core (コア) アップデートを実行する前に、次のサービスを停止します:

- Dell Storage Management Web Service
- DSM SA Connection Service

- DSM SA Data Manager
- DSM SA Event Manager
- DSM SA Shared Services

アップデート完了後、サービスを再起動します。


USB ドライブから起動すると、Windows Recovery Wizard で Appliance を回復できない

説明 USB ドライブが RASR USB ドライブとしてフォーマットされると、アプライアンスはその USB ドライブを認識せず、オペレーティングシステムでドライブを固定ディスクとして表示します。

回避策 / 解決方法 オペレーティングシステムで固定ディスクとして表示される USB ドライブは一切使用しないでください。

ハードドライブが MD1400 エンクロージャから取り外された後でディスクステータスが正しく表示されない

説明 **Appliance** (アプライアンス) タブの **Controller** (コントローラ) ページで、コントローラから取り外されていないハードドライブのディスクステータスが黄色になり、取り外されたハードドライブは緑色のままとなります。

 **メモ:** この問題は、**Controller** (コントローラ) ページが開いており、ページを開いたままでドライブを取り外そうとした場合に発生します。

回避策 / 解決方法 ページを更新する、または 30 秒待ちます。

Recovery and Update Utility 実行中、Dell DL Appliance アプリケーションがエラーを伴って失敗する

説明 Recovery and Update Utility 実行中に There was an error while installing Dell DL Appliance (Dell DL Appliance のインストール中にエラーが発生しました) というエラーが表示され、Dell DL Appliance アプリケーションが失敗します。

回避策 / 解決方法 サポートにお問い合わせください。RUU は環境内に多数の変更を導入する重要なツールであり、手順の一部が実行できない場合は、システムが一貫性のない状態のままとなる可能性があります。

アプライアンスの再起動時、ランダムなドライブ文字がリポジトリ VD に割り当てられる

説明 アプライアンスをプロビジョニングし、再起動した後、ボリュームの再マウント後にリポジトリディスクのドライブ文字が変化します。

回避策 / 解決方法 文字がボリュームに割り当てられている場合、ディスク管理ツールを使用してその文字を削除することができます。ただし、割り当てられた文字を使用してリポジトリがすでに展開されていると、そのリポジトリは到達不能になります。この問題を回避するには、次の手順を実行します。

1. **Repositories** (リポジトリ) タブに移動します。
2. **fix repository paths** (リポジトリパスの修正) ボタンをクリックします。
3. 失敗したリポジトリに対して、(削除したボリューム文字を含む) 到達不能なパスを有効なパスに置き換えます。
4. 変更を保存してリポジトリの確認を実行します。


Recovery and Update Utility (バージョン # 184) アップグレードと工場出荷時設定への復元の実行後に両方のコントローラの再マウントに失敗する。

説明 ボリューム文字が他のリムーバブルデバイスに割り当てられたため、再マウントボリュームが以前 VM ボリュームによって使用されていたマウントポイントを復元できませんでした。

回避策 / 解決方法 システムからすべてのリムーバブルメディアを取り外してから、**Remount Volumes** (ボリュームの再マウント) をもう一度実行します。

ホスト名に下線を使用しない

説明

 **注意:** ホスト名に下線を使用しないことをお勧めします。使用すると、**Open Manage Server Administrator (OMSA)** ポータルが機能しない場合があります。

回避策 / 解決方法 新しいホスト名を有効にするには、オペレーティングシステムを介してホスト名を手動で変更し、アプライアンスを再起動します。

RASR USB キーの作成中にエラーが表示される

説明

RASR USB キーの作成中に次のメッセージが表示されます: Unable to connect to Dell storage management Web service. Try restarting the Windows Management Instrumentation service, and then restart the Dell Storage Management Web and reload this page (Dell storage management Web service に接続できません。Windows Management Instrumentation サービスを再起動し、Dell Storage Management Web を再起動して、このページを再ロードしてください。)

回避策 / 解決方法 このメッセージは無視してください。

アプライアンス タブでのポリシー表示の応答が遅い

- 説明** **View Policy** (ポリシーの表示) ボタンをクリックしたとき、表示は変わってもダイアログボックスが表示されるまでに時間がかかります。この遅延中に GUI で操作を行うと、<hostname> is not responding (<ホスト名>が応答していません) というメッセージが表示されます。
- 回避策 / 解決方法** このメッセージが消えるまで待ちます。

アプライアンスのホスト名を設定してドメインに追加する時にエラーが表示される

- 説明** お使いのアプライアンスのホスト名を変更して同じホスト名でドメインに追加すると、メッセージ、A critical error occurred while trying to configure the hostname and domain settings. Ensure that hostname does not already exist in the domain. If the issue persists, close the AppAssure Appliance Configuration Wizard, delete the configuration file below and restart the wizard. C:\Program Files\Dell\PowerVault\Appliances\DL\FTBU\FTBU.dat If the issue still persist, contact Dell support further assistance.
- 回避策 / 解決方法** お使いのアプライアンスを再起動してドメインに参加します。

RASR USB ドライブが生成されていない場合、Appliance (アプライアンス) タブの状態が黄色で表示される

- 説明** RASR USB ドライブは、AppAssure Appliance Configuration Wizard (AppAssure アプライアンス設定ウィザード) の実行中に作成することが推奨されます。RASR USB ドライブが作成されていない場合、**health** (正常性) ページの Rapid Appliance Self Recovery が黄色で表示されます。これにより、Appliance (アプライアンス) タブのインジケータも黄色になります。

Appliance (アプライアンス) タブにコンテンツがない

- 説明** Appliance (アプライアンス) タブをクリックしてもテーブル内のコンテンツが表示されず、The following error occurred during the previous installation attempt (前回のインストール試行中に次のエラーが発生しました) というエラーメッセージが代わりに表示されます。これは通常、RUU で AppAssure Core がアップデートされ、ブラウザで AppAssure Core が開いているときに発生します。
- 回避策 / 解決方法** ブラウザキャッシュをクリアします。Internet Explorer の **インターネットオプション** にアクセスし、**一般** → **閲覧の履歴** → **閲覧の履歴の削除** の順にクリックして **削除** を押します。ブラウザを再起動します。

DL アプライアンスログの収集中に「Collecting... (収集中...)」というメッセージが画面に表示されたままになる

説明 **Tools** (ツール) → **Diagnostics** (診断) → **View Logs** (ログを表示) を選択して、AppAssure Core でログを収集しようとする、「Collecting... (収集中...)」というメッセージが画面に表示されたままになります。

回避策 / 解決方法 <F5> を押してブラウザをリフレッシュします。

Appliance (アプライアンス) タブが機能しなくなる

説明 時折、Appliance (アプライアンス) タブが応答しなくなることがあります。進捗状況を示す回転ボタンが止まります。

回避策 / 解決方法

1. **Internet Information Service Manager** を再起動します。
2. 各サービスを指定の順序で再起動します。
 - a. Windows Management Instrumentation
 - b. SRM Web Service
 - c. AppAssureCore
3. ブラウザのキャッシュをクリアします。
4. ページを更新します。

エクスポートの実行中に、仮想スタンバイ用の VM 操作ボタンがアクティブになる

説明 VM エクスポートの進行中に、VM 操作ボタンの **Start** (スタート) および **Add Network Adapter** (ネットワークアダプタの追加) が有効化されています。

回避策 / 解決方法 これらのボタンは、該当する VM エクスポートが完了するまでクリックしないでください。

Hyper - V のステータスがオフラインに変わると ESX (i)でのハイパーバイザのステータス情報がオフラインと表示される

説明 保護されたマシンの仮想スタンバイが、ESX (i) および Hyper - V という 2 つの異なるハイパーバイザで作成されたとき、エクスポートジョブが完了した後で Hyper - V 仮想マシン管理 システムが停止した場合は、ESX (i) でのハイパーバイザ情報のステータスが誤って表示されます。

RAID 5 以外の構成がアプライアンスでサポートされていない

AppAssure は RAID-5 構成のみをサポートしているため、ユーザーは、RAID 5 以外の構成でストレージを手動プロビジョニングすることはできません。

誤った RUU をインストールすると DL Appliance の機能が停止する

説明 正しくない Recovery and Update Utility (RUU) をお使いの DL Appliance にインストールすると、機能が故障するか正常に動作しなくなります。

回避策 / 解決方法 すべての DL Appliance には固有の RUU があります。正しい RUU をダウンロードするには、www.Dell.com/support にアクセスして、**Servers, Storage, & Networking** (サーバー、ストレージ、ネットワーク) → **Dell Storage** → **Dell DL1300** → **Drivers & downloads** (ドライバおよびダウンロード) → **Category** (カテゴリ) → **IDM** → **Dell PowerVault DL Recovery and Update Utility** とクリックします。

AppAssure Appliance Configuration Wizard (AppAssure アプライアンス設定ウィザード) が完了しない

説明 AppAssure Appliance Configuration Wizard は、ユーザーがプロセスを終了した、またはデバイスエラーが発生した場合に完了失敗します。

回避策 / 解決方法 デスクトップ上のショートカットを使用して、AppAssure Appliance Configuration Wizard (AppAssure アプライアンス設定ウィザード) を再実行します。

OpenManage Server Administrator サービスが無効のとき、AppAssure Appliance Configuration Wizard (AppAssure Appliance 設定ウィザード) で間違ったメッセージが表示される

説明 AppAssure Appliance Configuration Wizard (AppAssure アプライアンス設定ウィザード) に、次のエラーメッセージが表示されます。

```
A critical error occurred while running prerequisite checks.  
Call Dell support for further assistance.
```

回避策 / 解決方法

1. **Server Manager** → **Tools** (ツール) → **Services** (サービス) → **DSM SA Data Manager (DSM SA データマネージャ)** → **properties** (プロパティ) → **Startup type** (スタートアップの種類) をクリックします。
2. **Automatic** (自動) を選択します。

3. ログアウトし、再びログインして AppAssure Appliance Configuration Wizard (AppAssure アプライアンス設定ウィザード) を再開します。


OpenManage Server Administrator の問題

- 説明** DL1300 アプライアンスにおける、各種サブシステム間の複雑な相互作用のため、OpenManage Server Administrator が正しく機能しないことがあります。
- 回避策 / 解決方法** DSM SM データマネージャサービスを再起動します。

OpenManage Server Administrator が正しくインストールされない

- 説明** リカバリおよびアップデートのユーティリティを使用すると、稀に OpenManage Server Administrator が正しくインストールされないことがあります。
- 回避策 / 解決方法** **Start (スタート) → Control Panel (コントロールパネル) → Uninstall a program (プログラムのアンインストール) → Dell OpenManage Systems Management Software (Dell OpenManage Systems Management ソフトウェア)** をクリックして手動で OpenManage を削除してから、ソフトウェアを手動で再インストールします。

OpenManage Server Administrator がステータスのアップデートに失敗する

- 説明** OpenManage Server Administrator は時々ステータスのアップデートに失敗し、OpenManage Server Administrator のステータスが、**Appliance** (アプライアンス) タブ **Overall Status** (全体のステータス) 画面に表示されるステータスと一致しないことがあります。
- 回避策 / 解決方法** **Server Manager → Tools (ツール) → Services (サービス)** と移動して、**DSM SA Data Manager** サービスを停止してから再開します。
-  **メモ: Services (サービス)** ウィンドウによってほかのサービスも再度開始するよう指示されることもあります。サービスを再度開始した後もまだ問題が残るようであれば、アプライアンスを再起動します。

Recovery and Update Utility の完了に時間がかかる

- 説明** ドメイン参加中に Recovery and Update Utility を実行すると、所要時間が 90 分を超えます。
- 回避策 / 解決方法** Recovery and Update Utility の処理を早めるには、ローカル管理者としてマシンにログインします。ドメインにはログオンしないでください。Recovery and Update Utility を開始してからドメインにログオンします。

AppAssure のデスクトップショートカットがドメインユーザーに表示されない

- 説明** 管理者権限のないドメインユーザーに対し、AppAssure ソフトウェアのデスクトップショートカットが表示されません。
- 回避策 / 解決方法** AppAssure ソフトウェアのデスクトップショートカットは、管理者権限のあるユーザーにのみ表示されます。アプライアンスにローカル管理者、または管理権限を持つユーザーとしてログオンしてください。

ホスト名を変更しても Core Console ショートカットがアップデートされない

- 説明** システム (AppAssure Core Console がインストール済み) のホスト名の変更後、**Start (スタート) → AppAssure → Core (コア)** にある AppAssure Core Console のショートカットが、新しいホスト名でアップデートされません。
- 原因** この問題は、AppAssure Appliance Configuration Wizard (AppAssure アプライアンス設定ウィザード) を使用してシステムのホスト名を変更した後、AppAssure Console を閉じてそのデスクトップショートカットを削除した場合に発生します。
- 回避策 / 解決方法** AppAssure Core Console のデスクトップショートカットを削除しないでください。

AppAssure アプライアンス設定ウィザードを終了しようとしてもエラーメッセージが閉じない

- 説明** ストレージプロビジョニングでのエラー発生後に AppAssure アプライアンス設定ウィザードを閉じようとする、待機するように促すプロンプトが表示されます。アプライアンスが応答しなくなり、表示されたメッセージを閉じることができません。
- 回避策 / 解決方法** アプライアンスを再起動すると、AppAssure Appliance Configuration Wizard (AppAssure アプライアンス設定ウィザード) が自動的に起動します。

ライセンスキーのインストールの失敗

- 説明** 各種コンポーネント用のライセンスキーのインストールが失敗しても、アプライアンスに **Software License** (ソフトウェアライセンス) に対して赤い **X** が表示されません。
- 回避策 / 解決方法** ライセンスキーのインストールを再度実行してください。

ライセンスキーのインストールと AppAssure アプライアンス設定ウィザードが失敗する

説明

AppAssure Appliance Configuration Wizard (AppAssure アプライアンス設定ウィザード) を使用する際に不正確なデータ (例えば、不正確なホスト名、ドメイン資格情報など) を入力すると、アプライアンスの設定に失敗します。

AppAssure サービスは自動的に再起動されないことから、AppAssure アプライアンス設定ウィザードが再開後も継続的に失敗する場合があります。

AppAssure サービスが実行されていないと、ライセンスキーのインストールも失敗します。

回避策 / 解決方法

1. **AppAssure Appliance Configuration Wizard (AppAssure アプライアンス設定ウィザード)** を閉じます。
2. AppAssure サービスを手動で再起動します。
3. **AppAssure Appliance Configuration Wizard (AppAssure アプライアンス設定ウィザード)** を再開します。

ライセンス設定の失敗時に誤ったメッセージが表示される

説明

ライセンス設定の失敗時に、次の誤ったエラーメッセージが表示されます。

```
A critical error occurred. Click 'Back' to try again. If the issue persists, contact Dell Support for assistance
```

回避策 / 解決方法

1. **AppAssure Appliance Configuration Wizard (AppAssure アプライアンス設定ウィザード)** を閉じます。
2. AppAssure サービスを手動で再起動します。
3. **AppAssure Appliance Configuration Wizard (AppAssure アプライアンス設定ウィザード)** を再開します。

USB ドライブの安全な取り外し

説明

Create RASR USB drive (RASR USB ドライブの作成) ページの **Safely Remove USB Drive (USB ドライブの安全な取り外し)** をクリックすると、失敗する場合があります。

回避策 / 解決方法

Windows のタスクバーにある **Safely Remove Hardware and Eject Media (ハードウェアの安全な取り外し)** オプションを使用して、USB メディアを取り出します。これにも失敗する場合は、システムからログオフし、再度ログインします。**Safely Remove USB Drive (USB ドライブの安全な取り外し)** オプションまたは、**Safely Remove Hardware and Eject Media (ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す)** オプションを使用して再試行します。



メモ: バックアップステータスは黄色のままになりますが、アプライアンスの再起動、または *Dell Storage Management Web Service* の再起動によって修正可能です。

困ったときは

デルへのお問い合わせ

デルでは、オンラインおよび電話ベースのサポートとサービスオプションをいくつかご用意しています。アクティブなインターネット接続がない場合は、ご購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデル製品カタログで連絡先をご確認いただけます。これらのサービスは国および製品によって異なり、お住まいの地域では一部のサービスがご利用いただけない場合があります。

セールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービス問題についてのデルへのお問い合わせは、software.dell.com/support にアクセスしてください。

マニュアルのフィードバック

デルのマニュアルページのいずれかで **Feedback** (フィードバック) リンクをクリックして、フォームに記入し、**Submit** (送信) をクリックしてフィードバックを送信します。